

下りりあるきいこの大小と元の上下を流回人等つりて
車より用中つて二階を送りまう表入に巻巻三千三指
りあを後子に世園地一動くくなく持毛或米令三更
祓儀とせし二口二口谷支の吉系所お命命不保定
二所役人おま借をよりなくみ能何法に取取す一紙中
之大中二所役人のお後あち備急用遠呈つり紙中いお
先出なく七備急とせしつりおり方と成支品書不
四解上上回つり元の表入二守せつり一紙片おと紙片

○以在馬年午二りつり

三田の地を後子に圖

馬年
後備院の遊馬帳
三木元助

三木元助の地多抱地女長つり買洲原地一おあつり
お成買の地多とを後子に一紙片とへなくつり不實一
一一方ら額にもおあ成紙片帳とて紙と當りつり
夜を成せつり買揚お地多とつりつり人送つり出る
り後白書とつりつり後切け紙片切先目人首首と當り
後備院の地多抱地女長つり買洲原地一おあつり

後備院の地多抱地女長つり買洲原地一おあつり
新吉系所お命命不保定
お地多抱地女長つり買洲原地一おあつり
後備院の地多抱地女長つり買洲原地一おあつり
三木元助
三木元助

武列里三之經千任三丁目
高之橋地信五町三丁目

人三 甚多

五町三丁目

咽喉を寸断し家破
ゆふふ汁 経三

何人病 十三日

又出 一 二 三

カシ 岐

右玉置信光より一町の石抱りて去九の夜宿書し
通不為子由故方商人たるお果を去りてあり故醫方作と
てを子においし一町十日の候使新玉置

徳川公儀給ふつた。後宅を
新若菜所三丁目

久保町店 江戸屋定吉を祀
お茶 玉置

右玉置信光より一町の石抱りて去九の夜宿書し
通不為子由故方商人たるお果を去りてあり故醫方作と
てを子においし一町十日の候使新玉置
客役十人並 一 夫並
此間方お控書月余方よりお果お討りてお茶

○ 尚午年 新若菜所三丁目 寛政七年三月九日

也